

FD ロシア語入門

菅原光枝

これはロシア語を全く知らなかったことのない人がロシア語のフォークダンスの資料を眺めようとするときのために書いたものです。したがって文法的にも不完全ですが、筆者の能力がこの程度であり、ても、辞書と文法書をたよりに一応本格的に読解し上げることができたので、読者諸氏もこのレポートと辞書とをたよりにして同等以上のことができると思う。

第1章 アルファベットと発音

ロシア語の文字は英語とちがらぬので、それだけでイイ気せぬ一人一人のロシア語を話すのに漢字ならかなをのめたローマ字英語と七何種もの文字をのべて来たのではない。αβγ...等々もある。ロシア文字(キリル文字)は下段に示すか、さしあたり必要のかり筆算係はする。

大文字	小文字	発音	対応の英語	対応のキリル文字 (発音)	覚え方
A	a	ア	a	Аа	ア
B	b	ベー	b	Вв	ベ
В	в	ヴァー	v, w	Вв	BはVにアタ、 カ、マ、タ、フ、
Г	г	ゲー	g	Гг	DはAにアタ?
Д	д	デー	d	Дд	DはAにアタ?
Е	е	エイ	ye	Ее	Eはアにアタ
Є	є	ヨー	yo		
Ж	ж	ジャー	j *		変な文字
З	з	ゼー	z	Зз	ゼ
И	и	イー	i	Ии	Иの音はイ、ウ、カ、ウ、エ、オ、イ
Й	й	イ・クワツ	neかi, y		
К	к	カー	k	Кк	小文字もk, k'atou
Л	л	イル	l	Лл	ラム
М	м	エム	m	Мм	
Н	н	エヌ	n	Нн	Hはエヌ
О	о	オー	o	Оо	
П	п	パー	p	Пп	ピ(10)
Р	р	エル	r (62, 32, 43)	Рр	ロー
С	с	エス	s	Сс	ス
Т	т	テー	t	Тт	タク
У	у	ウー	u	Уу	ウ
Ф	ф	エフ	f	Фф	フ
Х	х	ハー	ch (発音)	Хх	フ
Ц	ц	ツェー	ts		
Ч	ч	チャー	ch (tj)		
Ш	ш	シャー	sh		
Щ	щ	シチャー	shch		
Ъ	ъ	分断記号			
Ы	ы	ウイ	y		
Ь	ь	軟音符			
Э	э	エー	e		
Ю	ю	ユー	y		
Я	я	ヤー	ya		

注意具

B → は V 又は W にあたる。V と W の区別はない。
P (ブル → r), H (エス → n), C (エス → s), X (ハ → ー ぬん), Y (ウ → ー u) に注意
3 (セ →), C (エス), 中 (エフ) のアルファベットの位置に注意 (綴りと別く時以外)
子音は母音をただひきくしたものがあつた。B の小文字は b ではなく B である。

子音の「j」

「j」は母音である。ところで「j」の子音は？ y 又は j (ヨット) である。で、j の発音は？ セフ、イ、に近い音で子音であり記号で「j」で表わされる音である。スラヴ系言語ではこの音がしばしばあらわれる。まず母音にアイリエオヒヤンエエヨがある。前者を硬母音、後者を軟母音という。

硬母音 a (ア) bi (ビ) y (ウ) yo (エ) o (オ)
軟母音 ja (ヤ) u (イ) io (エ) e (エ) e (エ)

ただし日本語の「j」に近いのは j ではなくて i である。
スヨは外來語につかわれる。

子音のあとにこの「j」の音だけか来る (母音はなく) 場合もある。例として pb [rj] である。これは「r」に近いけれども「r」より短くあくまで子音である。要するに短い「r」だと思 えていて下さい。軟音符号 b はこのときにも使われるものである。

母音のあとにこの「j」が来る場合もあるがこの場合は b ではなくて j (イウラトコエ 短いイ) を用いて書かれる。

pi (ri 母音), pj (ria 母), pb (rj リ子音), oij (oj 母)
となる。読むだけなら全部「i」がはいるのであるが心算はいいない。

発音

ローマ字と同じように一文字一発音だからロシア文字を対応のラテン文字にたおしするすればよめる。

Во саду ⇒ Vo sadu ⇒ ウォ サドゥ
Полянка ⇒ Poljanka ⇒ ポーリヤンカ
Попак ⇒ Popak ⇒ ポパック (ポパカバ...))
Судмалинас ⇒ Sudmalinas ⇒ スドマリナス etc

アクセントのある母音は必ず長音に。又アクセントのない O は a に近い音になるが、英語の資料には O の書きかたも多し。カタカナにする場合アかオかまよる所である。と(ア)のときは必ずアクセントがある。又ロシア語の X (ハ), K (カ), P (ガ) はすべて英語の ch のように O のどの奥で発音されるので q (ンガ) の音はない。Попак の P が英語の Popak の P にあつてはもうのもこのためである。又英語の sh かどういふかオハオハ P 語で sh となることが多い。例えは

waltz (東) → wals (仏) → вальс = valis (露)

V と W の区別がない。ともに B であらわされる。(英語で w は ベー ー t))
Пa は「ア」だが Пu は「ウ」ではなくて「ウ」になる。Пu は「ウ」である。又 Пe は「エ」ではなく(Пe は Пe) → Пe. Пe は「エ」になる。

有子音は語末、および無子音の前では無子音化する。(英語でもこういう規則があつたと思う)。又 K, T, C は有子音 (B E n k) の前では無子音化する。

「j」がける、b がける、かて問題になるかなつかいであるが、ロシア語にも一つだけある。Г, К, X (のじの音); * Ч, Ш, Щ のあとには j, io, ja をかかずに u, y, a をかく。これを五音法の規則といふか読むだけなら別に気にしなくてよい。

第2章 名詞, 形容詞, 代名詞

冠詞

定冠詞, 不定冠詞ともない。

性数格

男性, 中性, 女性の3つがある。ただし男性と中性は主格以外は同じ活用をする。数は単数と複数があり、複数には男, 中, 女性すべてについてほぼ同じ活用をする。つまり, 実質的には男単, 女単, 複の3つの活用表で足りる。

性のみ分け方は単数主格の語尾でわかるので他格のように一語一語をぼえる必要はない。

格は全部で6つ。他格より2つ多いが, たいていしたことはない。

主格	生格 [★]	与格	対格	造格	前置格
～は	～の	～に	～と	～で	(前置詞は)
主格	所有格	解明	目的格	with+ by+ [～]	

対格は女性単数以外はすべて主格又は生格と同じになる。そのものか人や動物のとき生格と同じになりそれ以外なら主格と同じになる。これは日本語で「君が好きだ」といったとき (I) like you なのか you like なのか区別できないのを (ロシア語でもこのように主格と目的格, 物詞を省略することもあり, 語順もかなりフリーであるが活用形でそれが主格か目的格か判断できるのである。) 目的格(対格)で生物を主格と区別することにより判断させるものである。

造格は, 「ペンで(書く), 椅子で(きに用いる格)である。

名詞変化

	主格	生格	与格	対格	造格	前置格
単数	男性	—	a	y	!	om e
	中性	o	a	(y)	!	om e
	女性	a	a	e	y	om(om) e
複数	男性	u	ov, ey	am	!	amh ax
	中性	a	—, ey	am	!	amh ax
	女性	h	—, ey	am	!	amh ax

! は人間と動物なら生格と同じで, それ以外は主格と同じ。

アイウエオとヤイユエヨがある。たのぞ活用表にもこの二つがあらわれる。エド示したのはアイウエオ(硬変化)式のオのみであるかあとは機械的に軟変化をつくれる。

a	o	y	o	ヨは外来語に用いる。
↓	↓	↓	↓	
я	u	ю	e, e	全

1 ページでのバタ正書法の規則のための硬軟ごちゃ混ぜの変化に注意。ものもある。
上の表でわかるように単数主格が子音ならば男性名詞(含軟子音), o 又は e なら中性名詞, a 又は я でおわるものは女性名詞である。б でおわるものは男性の場合と女性の場合がある。

形容詞

	主格	生格	与格	対格	造格	前置格	単語尾(主格)
単数	男性	ий, ой	ого	ому	/	им	ом
	中性	ое	ого	ому	/	им	ом
	女性	ая	ой	ой	ую	ой	а
複数	ие	их	им	/	ими	их	

形容詞と同じ型の子音を詞尾したものの上の活用を行う。

代名詞

形容詞と似た活用

	主格	生格	与格	対格	造格	前置格
一人称単数	я	меня	мне	меня	мною	мне
二人称単数	ты	тебя	тебе	тебя	тобою	тебе
三人称単数	он	его	ему	его	им	нём
三人称単数 (中)	она	её	ей	её	ей	ней
三人称単数 (女)	оно	его	ему	его	им	нём
三人称複数	они	их	им	их	ими	них
who	кто	кого	кому	кого	кем	ком
which	что	чего	чему	что	чем	чём
自身(self)	—	себя	себе	себя	собой	себе

前置詞と用いられ、
では H+ ~ の形
をとり

発音: ЧТО は ШТО と発音される。ого, его などは ово, ево と発音される。

日本語: 語末の子音の前に e, o がある場合、活用したときにこのおちることがある。

例: ТАНЕЦ (ダンス) → ТАНЦЫ

ТЫ は独語の du にあたる。独語の Sie にあたるのは ВЫ である。

物主代名詞 (my, your etc)

物主代名詞	単・男	単・中	単・女	複
яの	МОЙ	МОЁ	МОЯ	МОИ
тыの	ТВОЙ	ТВОЁ	ТВОЯ	ТВОИ
мыの	НАШ	НАШЕ	НАША	НАШИ
выの	ВАШ	ВАШЕ	ВАША	ВАШИ

ОНО	ЕГО
ОНО	ЕГО
ОНА	ЕЁ
ОНИ	ИХ

活用は形容詞的

活用なし

副詞

ほとんど「たいてい」
形容詞 中性単語尾 (-о) で代用する

第3章 動詞および文構造

動詞不定形がである。(ニく少量 TI, 46 でおわるものもある。)

現在形変化

FD 用 だけ なら 三人称 だけ あげ られ ば 可

第一変化	Я	Ты	Он	Мы	Вы	Они	終止
第二変化	Ю	ешь	ет	ем	ете	ют	FD形-ТЬ
	Ю	ишь	ит	им	ите	ят	不規則-ИТЬ

特殊変化

正書法の規程で Ю→У 等々 と なるものあり。
 ешь etc → ьшь etc と なるものあり
 ~ОВАТЬ → ~УЮ, ~ешь, ~ует ... と なるものあり。
 アクセントの移動のあることもある。
 最後の子音が変換することもある。
 С З Т П СТ
 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓
 Ш Ж Ч Щ Ж Ш
 一人称に限り Я が ば いるものもある。

過去

単男	単中	単女	複
Л	ЛО	ЛА	ЛИ

不規則動詞

Быть --- (ある)

現在 есть, ест, いる, います 略されてしまう
 過去 был, было, была, были
 未来 я ты он мы вы они
 буду будешь будит будем будете будут

Мочь --- (できる)

現在 я ты он мы вы они
 могу можешь может можем можете могут
 過去 мог, могло, могла, могли

Идти --- (歩く)

現在 я ты он мы вы они
 иду идешь идёт идём идёте идут
 過去 шёл, шело, шела, шли

未来 一般動詞の未来 = 助詞の未来 + 動詞原形
 完了 完了形は別の動詞を用いる。すなわち完了動詞と未完了動詞がある。

進行形 なし。

疑問 ① 語順をそのままにして語尾を上げる
 ② 疑問詞 *ли* を用いる。

否定 動詞の前 *не*
 小詞 *ни* を用いて強調することもあるが、このときは *нет* は必ず
не + есть → *нет*
 なお否定文に入る単語は格にすることが多い

命令 *й, и, ь* をつける。
ите, ите, ьте とする (ていねい)

СЯ動詞 動詞原形 + *ся* (又は *сь*)
 ① *ся* は *себя* の比で「自分自身を〜する」の意
 ② 受動体となる。
 ③ 別の意味になることもある。

動詞詞 (≒ 分詞構文) ~ *ли* から *etc.*
 不完了動詞 現在形幹 + *я*
 (完了動詞 過去形幹 + *в* (母音のあと)
 + *ши* (子音のあと) } 活用なし

形動詞 (形動詞的用法)
 能動現在 ≒ + *ющий, ящий* ~ *ть/оо*
 " " 過去 ≒ + *вший, ший* ~ *ль/оо*
 受動現在 ≒ + *емый* ~ *зь/оо*
 " " 過去 ≒ + *нный, енный, тый* ~ *зь/аго*

定動詞, 不定動詞

接続法 (*ьたらば* *etc.*)
 過去形 + 小詞 *ли*
если бы ~ , (то) — もし ~ たらば —

関係代名詞 (同副詞)
 前置を必ずコンマでくぐる
кто --- who
что --- what that 何の
как --- how いかん
который --- which, that 何々の
сколько --- how many
чей --- whose
где --- where
когда --- when

第4章 格支配

前置詞

日本語の助詞のようにそれぞれかきつけた格を欲求する。
中には、ドイツ語 in (三、四格支配) のように二つ以上の格を求め
てそれぞれ意味のことなるものもある。

例 B park (格) = into the park
B park (前置) = in the park

数

…… 少つざつに変化する。

例 два русских студента есть
(二) (ロシアの) (男子学生) (いる)
(二) (校・生) (単・生)

生格を欲求することはない。

又「たくさん」等数量をあらわす語につぎく語も生格が多い。

生格等の用法

- ① ~ の
- ② 複数, 数量をあらわす語のあとで
- ③ 否定されるもの

無人称文

It is possible for me to ~ 型
 Мне можно (私に) できる (生格)
 (動詞原形)

感じのちがう格

(特FV用)

У меня (есть) словарь 私は辞書をもっている。(私のそばに本がある)
 (一般に есть は ださぬ)

Обе руки лежат ладонями на затылке
 両方の手(か) あり (複・格) (単・格) (複・格) (単・前置格)
 (複・格) (単・前置格) (複・格) (単・前置格)
 = Both hands lay on his nape by his palm
 = 両方の手のひらを頭のうしろにおく。

Наг правой ногой наклонился на правые полушария (есть)
 右(足) 右の 足(か) 低い 右(足) 右(足)
 (単・格) (単・格) (単・格) (副詞) (複・格) (複・格)
 = 右足に^{うしろ}低いボールへのステップ (かある)
 = 右足を、ボールを低くして、うしろへステップする。

Левая рука, согнутая в локте, находится ~

Руки слегка раскрыты в стороны (есть)

第5章 FD用の単語 イディオム

わかりにくいもの、辞書にはないもの

- Подушалец ボール (マージの上)
- юноша } 男子
- парубок }
- девушка } 女子
- дивчина }
- исполнители ダンサー 演技者
- Накрест クロステ
- поднимать / поднятй 持ち上げる スイングする
- такт 小節, 1拍子 тактとは 1小節ではなくて 8分音符を1拍とする。
- раз 1回。わけがなくて「いち」
- скрещенными クロスする
- друг ~ друг 互にかいにか
- против хода часовой стрелки csw (反時計回り)
- кулачок 小さなボール
- свободно 自由な。カモフラージュにゆったりとさせること, フリーハントの「フリー」
- положения ポジション (小さな区画)
- позиция ポジション (大きな区画) } つかいかけている。
- счёт カウント

俄の単語帳(リ)

よく用いられる語を並べ、動詞は基本形以外に形動詞で収録したもののもある。基礎語で収録してない語もあり、FD用の語が主体。50詞も収めFD用にした。まちかひもあるだろう。

A, a

высокий [形] 高い
вытягивать [動] 引き出す
вытянуть [動] 引き出す
вытиратель [名] フォロアスワ
выходить [動] 出る
выше [形] より高い

3 3

Б, б

балетный [形] 踊踏会の
белый [形] 白い
без [前] (性) へなしに
белор [名] 脚(1りの脚)
бырунец [名] ビグニョリ(マダガ)
бок [名] 横, 脇
боковой [形] 横の, 脇の
более [形] より(比較)
брат за [動] 手をとる
буем [名] カラス王
бустрий [形] 雲かき雲かき
бувать [動] ぶくぶくする

глас [名] 声
глубокий [形] 深い
голубец [名] カルペツ(カニ?)
гопак [名] フロク
грудь [名] 胸

за [前] (材) 後ろへ
(前) 後に
заключивать [動] 結ぶ
закончить [動] 終わる
закруглять [動] 丸くする
запястье [名] 手のひら
затылок [名] うなじ, 頭の後ろ
зрителю [名] 観客

Д, д

В, в

в (во) [前] (材) ~-(in)
(前) ~-(into)
вальс [名] ワルツ
вверх [形] 上へ, 上へ
венка [名] 花冠
венок [名] 花冠
веревочка [名] 縄(細い)
взявшись за руки [動] 手を握る
влево [前] 左へ
вниз [前] 下へ
вновь [形] 再び
внутренний [形] 内側の, 内側の
восемь [数] 8
восьмой [数] 第8
воздух [名] 空気
вперед [前] 前へ, 前へ
вправо [前] 右へ
вслед за [動] ~のすぐ後に
вступать [動] 入る
второй [形] 第2の
выворотный [形] 外側の, 外側の
выполнять [動] 行う
выпрямить [動] 直す
выпрямливать [動] 直す
выпялять [動] のびる

дальше [形] 更に遠く
два [数] 2
движение [名] 動作
движеться [動] 前進する
девушка [名] 女子
певочка [名] 小女
держатъ [動] 握る
держаться за [動] つかまえる
для [前] (性) ~のため
до [前] (性) ~まで
порижка [名] トリツカ
(side, behind)
порижка плетена (いん)

и [前] and
идти [動] (ある) 行く
из [前] (性) ~から
из-за [前] (性) ~の後ろから
из-под [前] (性) 下から
иница [名] 1とびき
исполнитель [名] ダンサー, 演技者
исполнять [動] 実行する, 行う

К, к

к, (ко) [前] toward
капюк [名] 帽子
каждый [形] 各々の
казак [名] コサック
как [代] いかん how
кисть [名] 手首
класть [動] 置く
колени [名] ひざ
корпус [名] 胴体
круг [名] 円
кружить [動] 回転する
кружильце [名] カルビリツツ
(バスターン)
кулак [名] こぶし
кулачок [名] (小さな) こぶし
кулак(а) [名] (の) こぶし

Е, е

естественный [形] 自然な
есть [動] 食べる
ещё [副] まだ, 更に
женский [形] 女の, 女性の

Ж, ж

Л л

ладони	[名]	てのひら
лавий	[名]	ラオ
лазкий	[名]	ラシ
лажате	[名]	ラシ
лента	[名]	テープ
лице	[名]	オモ
локоты	[名]	エル

образуе	[動]	形成する
обратный	[名]	反対の
обходить	[動]	あそきまわす
одновременно	[名]	同時に
описаны	[名]	記載
оперный	[名]	オペラ
опущена	[動]	下ろす
опускаться	[動]	下がる
опустить	[動]	
оставаться	[動]	残る
останавливаться	[動]	止まる
остатся	[動]	残る
от	[前]	から
отваливать	[動]	落ちる
отведен	[動]	引かれる
отделять	[動]	分ける
отнаклонить	[動]	傾ける
отнаклонять	[動]	傾ける
отогнута	[動]	
отталкивать	[動]	推しやる
оттолкнуть	[動]	

Попать	[動]	出る, 入る
подбивать	[動]	下ろす
подкруга	[名]	半円
подкружи	[名]	半円
поднимать	[動]	上げる
поднятый	[動]	上げた
подскакивать	[動]	跳ぶ
подскочите	[動]	跳ぶ
подтягивать	[動]	引く
подтянуть	[動]	引く
подушалоц	[名]	ボール
подушечка стопы	[名]	足指
позады	[名]	後ろ
позиция	[名]	ポジション (11B)
пол	[名]	中
полный	[名]	完全な
положение	[名]	ポジション (11B)
поочередный	[名]	順番の
порука	[名]	男子
поруок	[名]	男子
после	[前]	あと
последний	[名]	完全な

М м

медленный	[名]	遅い
мельница	[名]	水車
менять	[動]	交換する
метелочка	[名]	掃除機
мужской	[名]	男子
музыка	[名]	音楽
мягкий	[名]	柔らかい

образуе	[動]	形成する
обратный	[名]	反対の
обходить	[動]	あそきまわす
одновременно	[名]	同時に
описаны	[名]	記載
оперный	[名]	オペラ
опущена	[動]	下ろす
опускаться	[動]	下がる
опустить	[動]	
оставаться	[動]	残る
останавливаться	[動]	止まる
остатся	[動]	残る
от	[前]	から
отваливать	[動]	落ちる
отведен	[動]	引かれる
отделять	[動]	分ける
отнаклонить	[動]	傾ける
отнаклонять	[動]	傾ける
отогнута	[動]	
отталкивать	[動]	推しやる
оттолкнуть	[動]	

предыдущий	[名]	前の
придерживать	[動]	支える
прикладывать	[動]	つける
приложить	[動]	
пример	[名]	例
приподнимать	[動]	上げる
приподнята	[動]	上げた
приседать	[動]	しゃがむ
присяжка	[名]	誓い
продвижение	[名]	前進
продолжать	[動]	続ける
пролетать	[動]	飛ぶ
проस्ताвлять	[動]	勧める
ПРОТИВ	[名]	対 (against)
пружинный	[名]	ばねの
прыгать	[動]	跳ぶ
прыжок	[名]	跳躍
прямой	[名]	まっすぐ
пятка	[名]	かかと
пятый	[名]	第5の
пять	[数]	5

Н н

на	[前]	上
нагрягать	[動]	下ろす
нагрягать	[動]	
наклонить	[動]	傾ける
наклонять	[動]	傾ける
накрест	[名]	対して
направление	[名]	方向
направлены	[動]	向かう
направлять	[動]	
например	[名]	例えば
народный	[名]	民族の
находиться	[動]	ある
ниже	[名]	下
низкий	[名]	低い
нога	[名]	足
носок	[名]	つま先
ноты	[名]	楽符
назад	[前]	後ろ

на	[前]	上
нагрягать	[動]	下ろす
нагрягать	[動]	
наклонить	[動]	傾ける
наклонять	[動]	傾ける
накрест	[名]	対して
направление	[名]	方向
направлены	[動]	向かう
направлять	[動]	
например	[名]	例えば
народный	[名]	民族の
находиться	[動]	ある
ниже	[名]	下
низкий	[名]	低い
нога	[名]	足
носок	[名]	つま先
ноты	[名]	楽符
назад	[前]	後ろ

палец	[名]	指
папаху	[名]	毛皮帽
пара	[名]	カパル
пауза	[名]	休み
переводить	[動]	移動する
перевз	[動]	前へ
перескакивать	[動]	跳ぶ
перескок	[名]	跳躍
переступать	[動]	踏む
переступить	[動]	
переходить	[動]	移動する
плавный	[名]	滑らかな
плечо	[名]	肩
плл. Точек	[名]	ポイント
по	[前]	へ
повергать	[動]	下ろす
повернута	[動]	下ろす
повернуть	[動]	回す
повертывать	[動]	回す
поверх	[名]	上
поворотить	[動]	回す
поворачивать	[動]	回す
поворот	[名]	回転, 変換
под	[前]	下

О о

о	[名]	前
оба	[名]	両方の
обе	[名]	
однимати	[動]	下ろす

палец	[名]	指
папаху	[名]	毛皮帽
пара	[名]	カパル
пауза	[名]	休み
переводить	[動]	移動する
перевз	[動]	前へ
перескакивать	[動]	跳ぶ
перескок	[名]	跳躍
переступать	[動]	踏む
переступить	[動]	
переходить	[動]	移動する
плавный	[名]	滑らかな
плечо	[名]	肩
плл. Точек	[名]	ポイント
по	[前]	へ
повергать	[動]	下ろす
повернута	[動]	下ろす
повернуть	[動]	回す
повертывать	[動]	回す
поверх	[名]	上
поворотить	[動]	回す
поворачивать	[動]	回す
поворот	[名]	回転, 変換
под	[前]	下

предыдущий	[名]	前の
придерживать	[動]	支える
прикладывать	[動]	つける
приложить	[動]	
пример	[名]	例
приподнимать	[動]	上げる
приподнята	[動]	上げた
приседать	[動]	しゃがむ
присяжка	[名]	誓い
продвижение	[名]	前進
продолжать	[動]	続ける
пролетать	[動]	飛ぶ
проस्ताвлять	[動]	勧める
ПРОТИВ	[名]	対 (against)
пружинный	[名]	ばねの
прыгать	[動]	跳ぶ
прыжок	[名]	跳躍
прямой	[名]	まっすぐ
пятка	[名]	かかと
пятый	[名]	第5の
пять	[数]	5

П п

падежаск	[名]	バネ
притоп	[名]	踏み
ползунок	[名]	滑車
подскачка	[名]	跳躍
полька	[名]	ポルカ
первый	[名]	第1の
правый	[名]	右の

падежаск	[名]	バネ
притоп	[名]	踏み
ползунок	[名]	滑車
подскачка	[名]	跳躍
полька	[名]	ポルカ
первый	[名]	第1の
правый	[名]	右の

Р Р
 радом [名] 傍ら
 раз [名] 一回, "1回"
 разгибать [動] のびる, 伸ばす
 раскрывать [動] 開く
 раскрытый [動]
 резкий [名] はげしい, 鋭い
 рис. [名] 図.
 ритм [名] リズム
 рука [名] 手
 растяжка [名] 大の字
 раскрывать [動] 開く

С с
 с [名] (前) 前から
 (性) 比 ともに with
 (動) 前, ぐり

сбоку [名] 横から, 脇から
 сдрожена [動]
 сверху [名] 上へ, 上から
 свободно [名] 自由に, 自由に
 сгибать [動] 折る
 сделать [動] 行う
 седьмой [名] 第7の
 семь [名] 7
 сзади [名] 背後から
 скользить [動] 表面を滑る
 скрещение [名] 交差, 交点
 словать [動] 開く
 слева [名] 左から
 слепка [名] 複製
 слеркий [名] 軽い
 следовать [動] follow
 слерующий [名] 次の
 сначала [名] 最初から
 снизу [名] 下から
 согнутый [名] 折る
 сообразно с чем ~に合せて
 составлять [動] 成る, 成る
 спереди [名] 前から
 спина [名] 背
 справа [名] 右から
 среди [名] (動) 中央
 ставить [動] 置く
 становящаяся [動] 立つ, なる
 стола [名] 卓
 сторона [名] 側
 ступня [名] 足のうら
 сцена [名] 舞台
 счёт [名] 拍子, カウント
 средин [名] 中央

Т т
 так [名] そのように so
 также [名] へそ又, 同様に
 талля [名] 二重(ジャケット)
 теперь [名] 今
 то ~ то あるいは
 тот же 同一の
 третий [名] 第3の
 три [名] 3
 тыл [名] 背面
 тяжесть тела 体重

У у
 у [名] (動) ~のうへに
 ударять [動] 打つ, 打る
 упадание [名] ういせ = 墜落
 уровне [名] レベル, 高さ

Ф ф
 фигура [名] フォーメー
 характерный [名] 特徴的な
 хлопать в ладоши 拍手する
 хош [名] 足跡
 (COZ, 7, 7, 11, 15)
 (2011)

Ч ч
 часовой [名] 時計の
 часто [名] しばしば
 часть [名] 部分, 部分
 человек [名] 人
 четверти [名] 第4の
 четверь [名] 1/4の
 четыре [名] 4
 что [名] 何
 чуть [名] わずかに, 僅かに
 через [名] 通る through

Ц ц
 цыган [名] シンガリー

Ш ш
 шаг [名] ステップ, 一歩
 широкий [名] はげしい

Щ щ
 щека [名] ほほ
 щиколотка [名] 肘

Э э
 Юноша [名] 男子

Я я
 яблоко [名] リンゴ